

CVP レポート サーバー DB インスタンス名のためのエイリアスを作成して下さい

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[手順](#)

概要

この資料に Cisco カスタマ 音声門脈 (CVP) レポート サーバー データベース (DB) インスタンス名のためのエイリアスを作成する方法を記述されています従って別のレポート サーバーに異なるエイリアス名前があります。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Unified Customer Voice Portal (CVP)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- CVP 10.X

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

背景説明

すべての CVP レポート サーバーでは Installtion、データベースのインスタンスは cvp にハードコードされます

手順

ステップ 1. DBSERVERALIASES のための %ONCONFIG% ファイル (onconfig.cvp) のエントリを作成して下さい。何か CVP_1、CVP_2、CVP_3、先祖などのようにエイリアスを作成している間続くルール:

- a. DBSERVERALIASES は子文字から始まる必要があり、他の子文字、ディジットおよびアンダースコアが含まれている場合があります。
- b. DBSERVERALIASES が大文字、フィールド デリミタ (領域かタブ)、新しい行文字を含んでは。
- c. 基本 ASCII コード セットからの他の文字は必ずしも信頼できません。
- d. たとえば、ハイフンかマイナス記号は問題を引き起こすことができ、コロンは確実にとはたらないかもしれません。
- e. @文字はサーバ (次 dbase@server) からデータベースを分けるために予約されます。

ステップ 2. C://Informix/db に行ってください、sqlhost ファイルを編集して下さい。
<instance name> <PROTOCOL> < ホスト名 > <aliased 例 name> を追加して下さい

例 : cvp_1 olsocp CVPRTPT cvp_1

ステップ 3. %WIN_PATH%/system32/etc/drivers/services を編集し、そのエイリアスのためのエントリを追加して下さい (IDS のための TCP エントリをコピーして下さい)

ステップ 4. そのエイリアス名前を一致するために Informix/sqlhosts の下で Registry エントリを作成して下さい。サービス名がエイリアス名前のそれと同じであるはずであることを確かめて下さい。

ステップ 5. サービスに行き、Informix IDS サービスを再開して下さい。正常なサービス再始動が確認した後 DB 例は作成されるように反映しています。